



目 次

支部長ごあいさつ	(60、S48年卒) 中西 憲幸	1
総会での話題提供①「核酸製剤の開発に携わって (経口製剤化を目指した経腸全身デリバリー)」	(83、H8年卒) 渡辺 知恵	2
総会での話題提供②「2つの漢方ー現代医学としての漢方と伝統医学としての漢方ー」	(66、S54年卒) 新井 一郎	2
人が支える創薬・防災とボランティア活動	(70、S58年卒) 遠藤 義之	3
お引越し	(77、H2年卒) 紺谷 徹	4
2020年に想う事	(87、H12年卒) 森口 博行	4
臨床検査と薬局薬剤師	(57、S45年卒) 伊藤 要一	5
【新人挨拶】思い出とこれから	(100、H31年卒) 竹下 佳輝	6
ゴルフクラブ便り	(55、S43年卒) 石橋 嘉夫	7
令和元年度首都圏支部活動報告・支部役員		9
令和元年度会計報告、令和2年度予算(案)		11
令和元年度 支部年会費納入者一覧		12
支部総会の開催及び今後の運営について		15
編集後記		17
令和2年度定期総会開催案内及び会場交通案内		18
令和元年度首都圏支部総会集合写真		19



最後のご挨拶と確かさの重要性

富山薬窓会首都圏支部長（60、S48年卒） 中西 憲 幸

平成23年（2011年）から毎年首都圏遠久朶にご挨拶を書かせて頂き、今年で10回目を迎えた。私は昭和25年（1950年）に生まれたので、平成22年（2010年）に会社を定年退職した。前支部長の柿崎さんは私の定年退職を待っておられ、支部長就任を懇願されていたので、定年と同時にお引き受けした。

それからあっという間に10年経ち、憲法記念日が誕生日なので、首都圏遠久朶がお手元に届いているときは古稀を迎えている。この10年間にドラッグストアで薬剤師として働き、生まれて初めて国家資格を使った。漢方系のクリニックの事務長、ジェネリック会社の顧問を経て、現在認定薬剤師に関わる仕事をしている。

この間、首都圏遠久朶は白黒B5から、カラーA4印刷になり、随分見やすくなった。参加者も大いに若返り、毎年フレッシュマンが参加してくれている。とりわけ女性の参加は飛躍的に増加している。

私が10年間つつがなく務められたのも道見幹事長の卓越した事務能力と首都圏支部役員の方々のサポートのお陰と感謝しています。また多くの方々から年会費を納めて頂き、総会や三金会に参加して頂き、同窓会組織はしっかりと活動しています。

さて、節目の年を迎えるにあたり、後進に支部長をお願いすることにしました。正式には6月27日（土）の支部総会で決定しますので、是非ご参加ください。また、支部財政が逼迫しておりますので、年会費についても提案させていただきます。

認知症の第一人者の長谷川和夫先生が認知症を発症された。NHKテレビが長谷川先生と家族に密着し、カメラを回し続けている。デイケアサービスは長谷川先生が提唱された仕組みであるが、自分が利用するとは夢にも思われなかったであろう。先生はデイケアが嫌いである。デイケアには友達がいなく、孤独のようにみえる。ただ家族の負担を減らせるので、行っているとの分別がある。

先生が認知症になって不安を感じるのは、確かさが薄れることである。我々は無意識に今日は何月何日何曜日で、何処にいて、何をするかは明確である。しかし、認知症になるとそれが分からなくなる。毎日不確かな状態のなかで、行動することにより不安が生じる。自殺が頭をよぎる。確かさの重要性をこれほどまでに感じたことはない。

話題提供①

核酸製剤の開発に携わって (経口製剤化を目指した 経腸全身デリバリー)

(㉓、H8年卒) 渡辺 知恵

近年、分子標的型のバイオ医薬品として、様々な抗体医薬品が開発され躍進中ですが、核酸医薬はさらなる次世代型医薬品として、その画期的な治療効果が期待されており、上市と開発が相次ぐようになってきております。しかし、開発中の製剤を含めて、これらのほとんどは注射剤に限られていることから、核酸医薬の効果的なドラッグデリバリーシステムの開発と、製剤学的開発は重要な役目を担っております。

アメリカ留学から帰国後、それまでは免疫学の研究に携わっておりましたが、薬の開発の出口である薬剤学の面白さに魅かれ、それ以降、自身の習得してきた技術や知識を基とし、核酸製剤の経口開発化プロジェクトに携わらせて頂いて参りました。本発表では、核酸製剤開発の近況概要と、自身の携わってきた新規核酸製剤の共同開発概要とその経口製剤化への取り組みについてご紹介させていただきます。(城西大学)

話題提供②

2つの漢方 —現代医学としての漢方と 伝統医学としての漢方—

(㉖、S54年卒) 新井 一郎

私は、富山大学・薬学部・薬品作用学教室で、木村正康先生から、漢方のテーマを与えられて以来、企業、大学を通じて、ずっと漢方薬の世界で生きてきました。その間に、漢

方について、いろいろなことを考えてきましたが、現在は、今回お話しするような考えに至りました。

漢方は、中国医学が日本流にアレンジされたものです。特にエキス製剤が健康保険で使えるようになってからは、医師が使用する漢方は、大きく変貌し、現在では、エビデンスに基づいて現代医学的に使用されるようになってきています。病院薬局や、調剤薬局では、こちらが、身近な漢方です。一方、いわゆる「漢方薬局」においては、依然として、伝統医学としての漢方が存続しています。漢方相談をされている薬局の世界では、これが「ザ・漢方」です。両者の使用する漢方薬やその剤型はかなり異なり、お互いを、「偽物の病名漢方」、「非科学的な漢方」と呼びあって、別のグループを形成しています。現在の薬剤師教育では、両者を教えることになっていますが、区別して教えているところは少なく、大部分の薬学生の頭の中は、中途半端な漢方のイメージが作られていることと思います。この2つの漢方について、なぜ、このようになったのか、どちらを使用すべきか、それぞれの長所と短所は何か、などについて、私が、現在、考えていることをお話ししたいと思っています。



人が支える創薬・防災と ボランティア活動

(◎、S58年卒) 遠藤 義之

バイオテクノロジー医薬品や低分子医薬品の分析・特性解析、GMP品質管理、臨床治験及び製造販売の承認申請と審査対応を製薬会社で30年余り続けてまいりました。

創薬の現場もこの数年でデジタル化、自動化などにより仕事の仕方が大きく変化してきました。新薬の構造探索はもとより、薬効や毒性データの活用による省力化、分析の自動化、画像データの解析、製造工程の設計で得られる膨大なデータの処理、資料の作成の自動化や教育の電子化など様々なデジタル技術の活用は、過去のノウハウや経験値をベースにした仕事の組み立て方を変える流れを生んでいるようです。AI、IoTやRPAなどの言葉が新聞などメディアで頻繁に目にするようになりました。規則性にしたがった仕事を効率よく進める上で、これらのデジタル技術を活用することが不可欠な要素となり、現実的に紙で管理していたような文書や情報の電子化や情報管理の迅速化により生産性が向上していることが実感されます。

しかし一方では、革新的なアイデアを生み出すキーとなる要素は人の持つ知恵と工夫にあると思います。過去の慣習や常識に囚われない独創的な発想や予想外の問題に対する対処や防御など、AIが進歩しても容易には成しえない領域だと思われます。まさに原点は人であることは変わらないのでしょうか。まだ治療法が確立されていない疾患への対処や年齢構成が長寿化する社会での健康維持の在り方など、人が工夫する課題はまだまだありそうです。

近年、地震に加えて台風や洪水など大きな規模の災害が続いています。地球温暖化など

がその一因に挙げられているようですが、科学が進歩した現代においても大自然の持つ破壊力は脅威であり、生命を守る防災対策が緊急な課題となってきました。私は10年以上前から地域の防災や将来災害が発生した際に消防署の活動を支援するボランティア活動が続けてきました(写真)。月に1回程度の休日での活動を通して災害対策のスキルを身に付けるだけでなく、地域や学校の防災活動のお手伝いや他のボランティア、地域住民、消防署員など交流が面白く、長く続けられた理由になっています。防災もまた人がそれに対する意識をもって小さなことから直接行動することが減災や被災後の復旧には不可欠だと思います。首都直下型地震が近未来に起こると言われていますが、近所の人との繋がりを大切にして正しい情報を踏まえて災害に備えることが大切だと感じます。



今夏は東京2020オリンピック・パラリンピックで世界中から注目され、より多くの人々が首都圏に集まることでしょう。私も大会ボランティアとして、来場者に楽しんでいただきアスリートが力を発揮しやすい環境を作る活動に参加します。海外から訪れる人々に日本の良さを感じてもらえるように、また自らも人々や未知の経験との出会いを楽しみながら、これから自分が挑戦できることを考えてみたいと思います。地球の環境を守り、多くの人が健康で安心して暮らせる持続的な社会

は、一人ひとりの小さな前向きの行動の積み重ねによってのみ実現に近づくことができると信じています。

お引越し

(㉗、H2年卒) 紺谷 徹

数年ぶりに寄稿の依頼を失念し、思い出したのは締め切り直前。慌ててパソコンの前であれやこれやと過去を振り返る旅に出る。

今年の2月に引っ越しをした。人生通算、7回目のお引越しである。異動が多い商社などの社員に比べるとそれほどでもないが、大学院卒業まで富山県新湊の実家に25年住んでいた私にとって、「結構動いたな～」と振り返って実感した。

最初の引越しは、就職を機に茨城県つくば市の会社寮に入る。2回目は、結婚を機に同じつくば市の県営アパートに入る(実は逆で、県営アパートの抽選に当たったのを機に結婚を決めた)。3回目、30歳を機に無理して同じつくば市に持ち家を購入するも、10年後、会社の人事異動で、自宅を売り払って大阪に家族で引っ越し(4回目)。4年後に、異動で茨城に呼び戻され常磐線沿線牛久市の借り上げ社宅に入る(5回目)。東京本社への異動と子供の大学進学を機に東京都国分寺市に6回目の引越し。

国分寺にはちょうど50歳で移り住み、とりあえず会社リタイヤまでと家内とお気楽に過ごしていたが、4年過ごして二人の中にいた「引越し虫」が活動し始めたか、週末ごとに冷やかしの物件探索の散歩に出た。中央線沿線の駅近物件価格は、都心に向かう一駅ごとにうなぎ上りで、一介のサラリーマンには検討の余地もない状況。西から散策を進めるうちに山手線を突っ切り、東のエリアに。気が付くと、寅さんゆかりの地、柴又の下町風情

に惹かれ7回目の引越しを決めた。

就職、結婚、異動、子供の誕生・進学・独立。人生の節目と引っ越しが運よく重なり合って、大きな問題なくここまでこれたことに心から感謝。これから先、8回目の引越しがあるか、自分でも皆目予想はつかないが、虫が動き出すまではしばらくここで楽しもう。

引っ越して1か月、近所の江戸川河川敷をジョギングした。「紺谷さん！！」と目の前のおっさん集団に大声で呼び止められた。引っ越したばかりで知り合いもないはずと、こちらのおっさんも驚きつつ、しげしげと相手の顔をみた。20年前、この地で草ラグビーに夢中になっていた時の仲間が、老体鞭打って、いまだ現役で楯円球と戯れていた。お互い、奇跡の再開を喜びつつ、次週の再会を約束して別れた。さて、帰って埃がかぶっているスパイクを磨くか…。引っ越しを機に、また楽しみが増えた。50半ばのおっさんの無謀な挑戦に乾杯！

2020年に想う事

(㉘、H12年卒) 森 口 博 行

2000年に学部を卒業した私たちの世代はちょうど卒業後20年が経ちます。20年会という節目の同窓会というものがあると先輩から聞き、普段連絡を取らない同級生にも連絡する理由になるかなと思っている今日この頃です。実家を離れ人生初めての一人暮らしで始めた大学生活でしたが、大学に入って始めたことの一つがスキーです。生まれて初めてのスキーは、牛岳スキー場のてっぺんから同級生の声を背にうけて滑り(転がり?)落ちた忘れられない思い出です。それ以来、雪山に通い下手の横好きが続き、今では趣味と言ってよいほどになっています。毎冬シーズンの楽しみにしているスキーですが、今シーズン

は記録的な暖冬で雪不足でした。各地からスキー場の倒産ニュースが入り、スキー・スノーボード人口の減少に拍車がかからないか心配しておりました。しかしながら雪のあるスキー場に行ってみると雪を求めるスキーヤー・ボーダーが集まっており、例年よりも混雑していて久しぶりのリフト待ちを味わいました。ちなみに今年は国体冬季スキー競技会がとやま・なんと国体2020として開催され、無事競技が行われたそうです。

冒頭で20年会という言葉を出しましたが、現在新型コロナウイルスによるイベント自粛ムードが高まっており、同窓会を開催するというのはなかなかハードルが高い状況です。流行りのウェブ会議システムを活用して同窓会を開催するというのも、遠方からの移動を避けることができ新しい形として現代の技術に可能性を感じております。イベント自粛に加えて小中高校の休校が要請されました。教育関係者および子供を持つ親には大変な影響が出ています。この対応のタイミングや是非は議論があることかと思いますが、治療方法が確立されていない未知のウイルスに対して最大限の警戒をすることは致し方ないことでしょう。製薬企業に身を置くものとして、いち早く新薬を供給できることが理想的と思いつつも新たな病原体に対する創薬プロセスの長さについての課題を痛感せざるを得ません。

近年の地震・台風・豪雨災害など自然の驚異を忘れることはありませんが、今年もやはり人間は自然の中で生きているということを再確認する2020年の始まりでした。新型コロナウイルスへの対処が適切になされ、東京オリンピック・パラリンピックが無事開催されることを祈っています。さて、20年会はどうしたものか。

臨床検査と薬局薬剤師

(67、S45年卒) 伊藤 要一

2011年3月に福井大学病院で始まった院外処方箋への臨床検査値記載は大学病院、基幹病院を中心に民間病院まで全国的に徐々に広がりがつつあります。電子カルテシステムの変更費用やタスクを要する等で対応していない医療機関がまだまだありますが、最近では慈恵医大病院、昭和大学病院、さいたま市立病院、広島大学病院、北野病院等でも実施されています。

多くの施設で、固定検査項目として日常用いられる血算や肝機能、腎機能など13~20項目を印字しており、医療機関によっては固定項目のほかに、薬剤により特定の項目を加えているところもあります。

臨床検査値は病院薬剤師には身近なのですが、保険薬局薬剤師にとっても、処方箋に記載された検査値を確認することは医薬品の有効性と安全性を確保するうえで重要です。

臨床検査値活用によって副作用の発現防止、過量投薬のチェック、禁忌・警告表示薬の投与回避ができます。例えば、腎機能検査やプロトロンビン時間に応じた投与量適正化、肝機能検査による薬剤性肝障害の予防と早期発見、白血球数やクレアチンキナーゼによる副作用の早期発見などです。検査値により、処方内容が患者の病態に適切かどうかを監査することで服薬指導ができ、必要に応じて疑義照会することで安全で適正な薬物療法が実現できます。

具体例として、好中球数(白血球数)の動きからバセドウ病治療薬チアマゾールによる無顆粒球症を早期発見し、同効薬プロピルチオウラシルへの変更、場合によってはI-131ヨウ化ナトリウム治療や手術の選択に結びつきます。

ダビガトランによる重篤な出血を防止するため血清クレアチニン値により投与量を調節したり、腎に負担をかけないアピキサバンのような他のDOAC（経口直接Xa阻害薬）への切り替えを検討することができます。余談ですが、これについては、2017年に薬学部6年生の講義を担当した際、その年の第102回薬剤師国家試験で次のような関連問題が出題されたので授業で紹介したことがあります。

問324（実務）

処方2に含まれるダビガトランエテキシラートによる重篤な副作用である出血の回避や投与量の調節のために考慮すべき検査項目はどれか。1つ選べ。

- 1 血清クレアチニン値
- 2 AST値
- 3 白血球数
- 4 PT-INR値
- 5 脳性Na利尿ペプチド値

首都圏支部の皆さんはすぐに正解がお分かりになると思いますが、今は国家試験でこのレベルの臨床検査の知識が問われています。

もうひとつは、セルフメディケーションサポートの一環として、2014年から薬局に設置されている検体測定室のことです。

来局者自身が自己穿刺で指先から採血して生活習慣病関連検査項目をチェック、診療には用いられませんが、自分の体の状態を知ること健康意識を高めるといのが狙いです。

検査項目は2019年7月に1項目増え、AST、ALT、 γ -GT、中性脂肪（TG）、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール、Non-HDLコレステロール、血糖、HbA1cの9項目が定められています。

検査結果によっては薬剤師による受診勧奨が行われて医療機関への受診を促進し、疾病

の予防や早期発見に寄与することが期待されています。

2020年1月31日現在、全国で1,762軒の検体測定室が運営されています。

以上のように、薬局薬剤師にとって臨床検査がますます身近なものになってきました。

私は過去、臨床検査関連書籍の執筆と編集に20年以上携わった経験もあり、薬局薬剤師業務にとって臨床検査が今後どのように展開するのか関心のあるところです。

【新人挨拶】 思い出とこれから

（ $\text{\textcircled{M}}$ 、H31年卒） 竹下佳輝

令和元年に富山大学を卒業いたしました、106回卒生の竹下佳輝と申します。大学の研究室は、和漢医薬学総合研究所の漢方診断学分野研究室に所属しておりました。柴原直利教授、小泉桂一准教授、条美智子助教授にご指導いただき、漢方に関する研究を行いました。研究室の活動を通じて、入学当初から興味があった漢方に魅せられ、現在では株式会社ツムラで製品の信頼性保証を行っています。

まずは、首都圏遠久朵に寄稿させていただけること嬉しく思います。令和元年度に参加させていただいた首都圏支部総会では、OB・OGの皆様とお会いし、多くの方にお声かけいただきました、ありがとうございます。

自分のことをもっと知っていただきたいなということで、もう少し自己紹介させていただきます。私は福井の敦賀で生まれ育ちました。敦賀は自然が豊かで、私達にとって身近な存在でした。通っていた敦賀高校は海から徒歩30秒の場所にあって、部活終わりにそのまま海に飛び込む夏が大好きでした。部活はバスケットボールに取り組んでいて、始めたのは小学4年生のころです。そこから夢中に

なり大学まで現役でプレイし続けました。自然が好きで、体を動かすのが好きな自分なので、富山大学に通った6年間はとても楽しかったです。春の時期には、ほたるイカ獲りに行き、夏は海、秋は紅葉、冬はスノーボードと満喫しました。

そしてなにより漢方を深く学べたことは自分にとって大きな財産です。薬局実習では運よく漢方薬局でお世話になり、病院実習や研究室では、柴原教授が自ら漢方についてご教授くださいました。様々な生薬から医薬品になり、それが実際に、多くの人の健康に役に立っている漢方は本当に面白く興味深いです。

早くも社会人2年目に差し掛かるということで、この1年間は茨城の研究所でGMPを学びながら、工場から委託される試験検査の品質保証をしておりました。そしてこれから始まる2年目は、東京本社に転勤となり、会社全体の品質マネジメントをすることとなっております。少しでも多く、困っている人に安全な漢方が届けられるように頑張りたいと思います。

私は、いつも周りの方に恵まれていると感じます。富山大学という繋がりをこれからも大切にしていきたいです。初めての都会暮らしで不安もありますが、皆様、気軽にお声掛けいただけたら嬉しいです。今後ともよろしくお願いいたします。

ゴルフクラブ便り

令和元年度 第93回、第94回開催報告

平成から令和に年号が変わり台風や大雨による大きな自然災害が日本の各地に爪痕を残した。一方、スポーツを愛する我々にとって富山県出身の若者が大きな足跡を時代をまたいで残してくれたことをこころから喜びたい

と思う。

まず、平成最後の31年5月場所の大相撲で平幕でありながら朝乃山が優勝を果たした。これは富山県人としては103年ぶり(横綱太刀山以来)とのこと。それよりも彼が五福の富山商の卒業生であることを知り、丁度55年前私の大学受験会場が富商であったことを思い出した。さらに、令和元年6月20日に開催されたNBAのドラフト会議でワシントンウィザーズに1位指名を日本人として初めて受けた八村 塁君が快挙を果たしたことである。しかも何と中学まで私どもの母校があった奥田で育ったというから、これも大きな因果を感じる次第である。今年度の薬窓会コンペも無事終了し、新しい令和のスタートを切ることができた。93回、94回をまとめて報告します。

(事務局：㊦、S43年卒 石橋 嘉夫)

【93回報告】

平成最後の例会として千葉県野田市の紫CC(あやめ36)に決め、皆さんに2月に案内をして4月10日の開催に向け準備をしてきた。しかし誰の行いが悪いのか当日は大雨と真冬のような寒波にて中止せざるを得ず、急きょ同じコースで5月、6月の空いている日を探して結局6月12日に行くことにした。再度皆さんのご都合を聞き、5回の案内をした次第。

一方この時期は梅雨入りの時期でもあり、且つ4月のこともあり天候を心配した。2日前の予報では小雨の情報であったが、実行することにしコースに向かった。当日は神様と仏様が一緒に我々を見守ってくれ雨も全く降らず、風もなく最高のゴルフ日和になった。今回は日程を変えたりした関係もあり10名を切る参加となったが、新しく改装されたコースで皆実力を発揮された。優勝は前回に引き続き47回の伊勢谷さん、準優勝は53回の南さん、3位に58回の石井さんでした。今回コースが新しく整備され、また皆都心近くから集

まりやすいのではないかと次回も同じ場所を予約して解散した。

【94回報告】

台風15号の通過を待つかのように快晴に恵まれた10月9日開催となった。ゴルフシーズンにてスタート時刻が大幅に遅れ、今回は東コースからスタートした。風もなく最高の日和で参加した8名も満足で一日を過ごすことができた。プレイの終了後石井幹事から会計報告があり、表彰式になった。今回は優勝3回連続を目指した47回の伊勢谷さんが惜しくも準優勝に甘んじ、栄えある優勝は56回の金さんが初めて獲得され、3位は前回に引き続き幹事の58回石井さんでした。太陽がギリギリ沈む時刻にホールアウトし2ホール位はお月様に向かってショットで思い出に残るプレイでした。打ち上げの席上今まで参加されていた方々が腰、膝、脊椎等に異常をきたし、参加できなくなってきたことが話題となった。元気でゴルフができるように健康に留意して皆集まることを約束して、次回は5月に開催を確認して解散となった。



93回令和元年6月12日 千葉県野田市 紫CC

近況報告

2019年首都圏支部総会出欠連絡より

④、S32年卒 鈴木 芳子

毎週1回2時間、和光市在住の外国人に1対1で日本語を教えています。お薬の方はほとんどダメですが、日本語インストラクターの方はばっちりです。

⑦、S35年卒 市中 滋郎

80歳を過ぎ、寒暖の差に弱くなった自己を実感しております。

⑨、S37年卒 鈴木 国男

予告の上で年会費2～3年未納者には会報等の送付を止めたらどうですか？あわてて納入する人増えないですかね！

100字通信

⑩、S28年卒 眞船 恒雄

令和元年9月25日、ホテルグランドヒル市ヶ谷でアインクラブ（薬学部第一回卒）の同期会を行いました。出席は松川君、人見君、鷹田明子さん、高田君の諸氏と眞船の5名で全員が、卒寿（90歳）を迎え元気な姿を見せて呉れました。来年も、富山で再会を誓い、楽しく歓談が尽きませんでした。幹事 高田



⑥〇、S48年卒 中西 憲幸

『半ドン』

先日、若い女性に、昔は土曜日が「半ドン」だったと話したところ、彼女はきょとんとした。その後多くの女性に「半ドン」を尋ねたところ、概ね昭和生まれの女性は知っているが、平成生まれは聞いたこともないという。昭和は遠くなりにはけり。

⑥⑨、S26年卒 米丸 洋子

初めての女子学生として富山薬専に入学した私も米寿。既に多くの級友を見送ってしまいました。今の所体調も良く、年2回元桔梗会の会員で開いている中食会（於 昭和医大17F）に参加し、歓談の一時を楽しんでいます。

⑥⑩、S36年卒 川上 惇

今シーズンのスキー競技会は雪不足で始まり、新型コロナウイルスの拡大で終わった。6競技会のうち3競技会が中止となった。2月初めの競技会で優勝し、さあこれからというときに中止が続き、シーズンが終わってしまう。4月の東京スキーマスターズ競技会も中止か？

⑥④、S32年卒 高木 良造

22年前に、冠動脈のバイパス手術を受けたが、昨年11月の冠動脈造影検査で、4本のバイパスの内1本が詰まっていることが分かり、年末に、詰まったバイパスにステントを入れる手術を受け、無事に血液を通す事ができました。医療の進歩とお世話になった皆様に、感謝しながら過ごしています。

院⑥、S48年卒 守屋 修

長いこと医大でウイルス免疫学に使った頭を定年で初期化し、ずっとやりたいと思っていた薬剤師をしています。同世代の多くの患

者さんに今まで使わなかった優しい心で接しています。まだやれると思ひながら。

⑥⑥、S54年卒 道見 茂樹

家庭菜園をもう25年位続けていると、何となく出来不出来が予想できるようになった気がしていたのですが、今年のような暖冬だと冬越ししたホウレンソウ、エンドウ豆の成長が早すぎたり、玉ねぎ、にんにく、エシレットの収穫がどうなるか等々やはり生き物相手は難しいです。

令和元年度 首都圏支部活動報告

1. 定期総会

令和元年度首都圏支部定期総会

令和元年6月22日（土）AP東京八重洲通

2. 幹事会

第1回幹事会：

令和元年10月16日（水）ビジョンセンター東京日本橋

第2回幹事会：

令和2年2月19日（水）ビジョンセンター東京日本橋

3. 令和2年度薬窓会首都圏支部総会案内状送付：

令和2年2月20日発送

4. 令和元年度薬窓会近畿支部総会：

令和元年6月16日（日）中西

5. その他

薬多津三金会（毎月第三金曜日開催）

於：多津よし（東池袋）

五福会 5月15日（水）

於：白山富山会館

12月6日（金）

於：白山富山会館

総会参加者・年会費納入者 推移

	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年
総会 参加者	69名	61	72	70	75
年会費 納入者	292名	300	287	283	286

2019年度 首都圏支部役員

支部長 : ⑥⑩、S48年卒 中西 憲幸
 副支部長 : ⑤⑧、S46年卒 加藤 健二
 ⑧③、H8年卒 平岡 良隆
 幹事長 : ⑥⑥、S54年卒 道見 茂樹
 副幹事長 : ⑦③、S61年卒 阿部 弘之
 ⑦⑦、H2年卒 紺谷 徹
 監 事 : ⑤⑨、S47年卒 松本 茂外志

令和元年度会計報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

I. 収入の部			単位 円
項 目	予 算	実 績	
前年度繰越金(普通預金)	3,554,980	3,554,980	
年会費	400,000	331,378	
総会参加費	500,000	459,000	
普通預金利息	30	28	
合 計	4,455,010	4,345,386	

II. 支出の部			単位 円
項 目	予 算	実 績	
総会費	450,000	436,848	
会合費(幹事会等)	50,000	29,259	
事務通信費	100,000	86,836	
同好会補助費	40,000	40,000	
会報発行費	450,000	451,772	
出張費	90,000	40,000	
事務局費	20,000	4,444	
次年度繰越金(普通預金)	3,255,010	3,256,227	
合 計	4,455,010	4,345,386	

令和2年度予算(案)

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

収入の部		支出の部	
項 目	収 入	項 目	金 額
前年度繰越金(普通預金)	3,256,227	総会費	450,000
年会費	400,000	会合費	50,000
総会参加費	500,000	事務通信費	100,000
普通預金利息	30	同好会補助費	40,000
		会報発行費	450,000
		出張費	60,000
		事務局費	10,000
		次年度繰越金(普通預金)	2,996,257
合 計	4,156,257		4,156,257

令和元年度 支部年会費納入者一覧

(合計 286名)

※平成31年4月から令和2年3月末までに年会費を納入された方の一覧です。

回	年卒	氏名	回	年卒	氏名	回	年卒	氏名
28	昭和15	岩崎光一	46	昭和34	齊藤諒三	49	昭和37	三尾美和子
35	昭和22	野村哲夫	46	昭和34	西岡碩枝	49	昭和37	森本武男
37	昭和24	井上三郎	46	昭和34	森 哲朗	50	昭和38	秋本紀子
37	昭和24	山口輝夫	47	昭和35	伊勢谷篤弘	50	昭和38	飯田武治
37	昭和24	大和宗雄	47	昭和35	市中滋郎	50	昭和38	木原幸弘
38	昭和25	津田照明	47	昭和35	梅原 弘	50	昭和38	高野祐子
39	昭和26	米丸洋子	47	昭和35	上村恵子	50	昭和38	野中美代子
40	昭和28	眞船恒雄	47	昭和35	倉石弘一	50	昭和38	福田昌平
41	昭和29	志甫 正	47	昭和35	小国益男	50	昭和38	前田一郎
41	昭和29	上銘外喜夫	47	昭和35	須藤昌二	50	昭和38	宮澤英雄
42	昭和30	荒川泰藏	47	昭和35	関 誠	51	昭和39	石塚典子
42	昭和30	久世啓吾	47	昭和35	古川貞子	51	昭和39	加賀美壯一
42	昭和30	種谷 豊	47	昭和35	室生知子	51	昭和39	島田庄蔵
43	昭和31	上野謙爾	47	昭和35	安川正巳	51	昭和39	島田輝子
43	昭和31	久郷正孝	47	昭和35	安川俣子	51	昭和39	諏訪庸夫
43	昭和31	車田知之	47	昭和35	若林庸夫	51	昭和39	塚越由美
43	昭和31	元田 修	47	昭和35	橋 眞郎	51	昭和39	古市郁子
43	昭和31	古徳 治	47	昭和35	城宝史郎	51	昭和39	宮城征子
43	昭和31	山岸伸郎	48	昭和36	安宅久弥	52	昭和40	小野澤カツ子
44	昭和32	岡西澄子	48	昭和36	油木劭之	52	昭和40	田村秀明
44	昭和32	紙谷得子	48	昭和36	川上 惇	52	昭和40	中島良信
44	昭和32	川村隆子	48	昭和36	川上芳子	52	昭和40	廣瀬南海子
44	昭和32	車田千秋	48	昭和36	久保一夫	53	昭和41	安西慶子
44	昭和32	鈴木芳子	48	昭和36	熊木健治	53	昭和41	浦野四郎
44	昭和32	高木良造	48	昭和36	定留温子	53	昭和41	坂本理英子
44	昭和32	高瀬清孝	48	昭和36	高橋芙美子	53	昭和41	中村和子
44	昭和32	種井健治	48	昭和36	船場定信	53	昭和41	林 聰
44	昭和32	林 吉孝	48	昭和36	前田伸子	53	昭和41	曲淵徹雄
45	昭和33	大郷利治	48	昭和36	吉田誠一郎	53	昭和41	南 法夫
45	昭和33	児玉英篤	49	昭和37	小川信吾	53	昭和41	村上則彦
45	昭和33	佐藤 忠	49	昭和37	加藤昭彦	54	昭和42	金森朱美
45	昭和33	佐藤池鶴子	49	昭和37	川村博子	54	昭和42	小木曾周子
45	昭和33	新森信正	49	昭和37	鈴木国男	54	昭和42	奥田昌子
45	昭和33	橋浦十八	49	昭和37	林 幸子	54	昭和42	佐藤和恵
46	昭和34	青木直右衛門	49	昭和37	土方久家	54	昭和42	庄司孝市
46	昭和34	安藤統美	49	昭和37	廣江光代	54	昭和42	庄司幸子
46	昭和34	川畑耕祐	49	昭和37	古谷 孝	54	昭和42	長谷見蓉子

回	年卒	氏名	回	年卒	氏名	回	年卒	氏名
54	昭和42	森川礼子	58	昭和46	村田悦郎	66	昭和54	金田 平
54	昭和42	竹内美千代	58	昭和46	吉富恭助	66	昭和54	川崎英之
54	昭和42	大内力男	59	昭和47	井本直樹	66	昭和54	草柳淳子
55	昭和43	石橋嘉夫	59	昭和47	駒田由美子	66	昭和54	鈴木千世
55	昭和43	井上みどり	59	昭和47	清水善行	66	昭和54	道見茂樹
55	昭和43	梅本美智子	59	昭和47	松本茂外志	66	昭和54	道見優子
55	昭和43	太田晴美	59	昭和47	三浦嘉統	66	昭和54	萩原いく江
55	昭和43	杉田惇子	59	昭和47	三輪 保	66	昭和54	原 信行
55	昭和43	鈴木 隆	60	昭和48	大西美知子	66	昭和54	真船恭子
55	昭和43	滝沢春美	60	昭和48	加藤マリ子	67	昭和55	佐々木秀樹
55	昭和43	牧野由紀子	60	昭和48	田中加代子	68	昭和56	笹又(清水)理央
55	昭和43	松野 萌	60	昭和48	末木愛子	69	昭和57	小林真弓
55	昭和43	南 菖子	60	昭和48	鈴木むつ子	69	昭和57	須藤喜子
55	昭和43	井上満子	60	昭和48	千田豊子	69	昭和57	塚本尋子
55	昭和43	奥村啓輔	60	昭和48	田谷栄子	69	昭和57	野尻幸子
55	昭和43	山口節子	60	昭和48	中島徳子	69	昭和57	竹内 誠
56	昭和44	加藤正子	60	昭和48	中西憲幸	70	昭和58	浦本博志
56	昭和44	金 知出	60	昭和48	水野洋子	70	昭和58	遠藤義之
56	昭和44	酒井綾子	60	昭和48	守屋 修	70	昭和58	工藤知子
56	昭和44	藤井(塚田)淳美	60	昭和48	丸山公代	70	昭和58	茂呂今日子
56	昭和44	深澤 宣	61	昭和49	梶谷早苗	70	昭和58	山口貴史
56	昭和44	山本寿美子	61	昭和49	清永城右	71	昭和59	大川恵子
56	昭和44	山岸悦子	61	昭和49	杉林堅次	71	昭和59	黒田豊志
56	昭和44	横山司甫	61	昭和49	田淵明美	71	昭和59	近藤高史
56	昭和44	加藤正子	62	昭和50	西山信右	71	昭和59	小澤佐余子
57	昭和45	天笠之珠子	62	昭和50	萩野洋子	71	昭和59	松井哲夫
57	昭和45	伊藤要一	62	昭和50	八谷京子	72	昭和60	上田伊津子
57	昭和45	北野栄一	63	昭和51	泉 眞美	72	昭和60	黒田 隆
57	昭和45	中島和彦	63	昭和51	高橋裕子	72	昭和60	平松雄子
57	昭和45	服部 仁	63	昭和51	萩野幸司	72	昭和60	信濃豊進
57	昭和45	林 昌美	64	昭和52	坂口一夫	72	昭和60	根本 了
57	昭和45	藤村元成	64	昭和52	鈴木利之	72	昭和60	根岸邦枝
57	昭和45	奥村淳子	64	昭和52	真船英一	72	昭和60	朝比奈正博
57	昭和45	古屋典子	65	昭和53	井上祐司	72	昭和60	矢野明子
58	昭和46	石井誠司	65	昭和53	大岸洋子	73	昭和61	阿部浩之
58	昭和46	石田行知	65	昭和53	渡辺茂美子	73	昭和61	加藤秀樹
58	昭和46	上田宗央	65	昭和53	関口 旦	73	昭和61	粉川敏行
58	昭和46	加藤健二	65	昭和53	金本郁男	73	昭和61	矢野信吾
58	昭和46	河内秀明	65	昭和53	山田健久	73	昭和61	松田浩二
58	昭和46	千田耕平	66	昭和54	鹿田史紀	74	昭和62	高土居雅法
58	昭和46	穂苺 茂	66	昭和54	加藤浩嗣	75	昭和63	伊藤由布子
58	昭和46	松田閑枝	66	昭和54	金子美代子	75	昭和63	池田 靖

回	年卒	氏名	回	年卒	氏名	回	年卒	氏名
76	平成元	朝倉 渡	83	平成8	田原嘉苗	101	平成26	佐藤(清水)芳美
76	平成元	畠山伸二	83	平成8	渡辺知恵	103	平成28	根橋幸平
76	平成元	平嶋直子	84	平成9	膝附由香	104	平成29	手賀悠真
76	平成元	折戸哲也	84	平成9	木村 徹	105	平成30	宮下正也
76	平成元	小林史明	84	平成9	宅和知文	105	平成30	若林ののか
76	平成元	滝口陽子	84	平成9	石崎雅之	105	平成30	野上暁生
77	平成2	紺谷 徹	85	平成10	堀口(高瀬)明子	105	平成30	海老原健
77	平成2	的場義典	86	平成11	鵜飼政志	105	平成30	林滉一朗
77	平成2	山本善一	86	平成11	鈴木智之	105	平成30	丸茂勇輝
77	平成2	織部幸子	87	平成12	穴澤和美	106	平成31	竹下佳輝
78	平成3	坂東裕志	87	平成12	森口秀美	旧職員及び大学院修了生		中込和哉
79	平成4	鈴木 寧	89	平成14	設樂邦夫	旧職員及び大学院修了生		根本信雄
79	平成4	友尾 孝	89	平成14	伏木洋司	旧職員及び大学院修了生		竹口紀晃
80	平成5	渡邊常作	90	平成15	山木(上野)陽子	旧職員及び大学院修了生		辻 泰弘
81	平成6	杉山 潔	93	平成18	齋藤智之	旧職員及び大学院修了生		山路誠一
82	平成7	井上博文	98	平成23	小林聡子			
83	平成8	東(葛西)美恵	99	平成24	今井亮太			

葉多津三金会 今年の開催日

5月15日(金)、6月19日(金)、7月17日(金)、8月21日(金)、9月18日(金)、
10月16日(金)、11月20日(金)、12月18日(金)

毎月欠かさず第3金曜日午後6時30分頃から牛タンを食べながら呑んでいます。

多津よし 東京都豊島区東池袋5-9-6

有楽町線「東池袋4番出口(現在工事中なので3番)」より徒歩3分

電話：03-3985-8776



首都圏支部総会の開催及び今後の運営について

新型コロナウイルス感染の拡大の影響で、既に本部総会（3/24）や近畿支部総会（5/30開催予定）の中止が決まり、オリンピックも来年への延期の決定がなされています。

この原稿を書いている時点（令和2年3月末）で、新型コロナウイルス感染はWHOからパンデミック宣言され、欧米をはじめとしてまだまだ拡大に向かう気配を示しています。一方、日本国内では「何とか持ちこたえている状態」とされていますが、東京都は移動の制限等まで追い込まれるギリギリの状態になっています。このままもう少し自粛状態を維持できたなら、首都圏支部総会開催予定の6/27まで約3か月残されていることを考えると、その頃までにはある程度の落ち着きが見込めると予想して、支部総会を予定通り開催する方向で準備を進めております。

なお、今後状況の変化があり支部総会の開催が困難と判断された場合は、参加のご連絡をいただいた皆様には薬窓会本部HPに掲示するとともに、個別に何らかの手段で中止のご連絡をさせていただきます。開催可否についてのお問い合わせがございましたら、(株)同窓会事務局（18ページ参照）までお願いいたします。

さて、今年の支部総会では、支部長挨拶にもありましたように、執行部の若返りと年会費の増額について提案させていただく予定です。特に年会費（現在1,000円/年）につきましては、今後の支部運営に大きく影響する問題でありますので、これまでの経過等背景を以下にご説明させていただきます。

1. 首都圏支部会員

2020年3月現在の全会員数は902名で、その中央値は65回卒の65歳位（卒業後40年以上経過）になります。表1の分布を見ますと、特に91回卒以降の若い会員の人数が少なくなっており、転勤・転居が多いこともあるのですが、個人情報保護法の施行以後の住所登録の難しさが見て取れます。また、この傾向は今後もさらに続き、会員数はさらに減少していくものと予想されます。

2. 収支状況

表2にあるように、支部年会費の納入者数は300名弱でここ数年大きな変化はありません。但し、会員分布の中央値65回卒までの方の納入者数は約200名で全体の2/3以上を占め、高齢の方々に多く収めていただいております。今後を考えると納入者数の方も減少していくものと予想されます。

表3の毎年の収支では、年ごとに増減はありますが、最近はおよそ30万～40万円の赤字になっています。収支をみると、支部総会費の方は、ほぼ参加費収入と同額になっており、赤字の原因はそれ以外に起因します。

2013年の遠久発発行費が低額なのは、この年は事務局業務を(株)同窓会事務局へ委託する前で、役員+有志により会誌、振込票等の封緘作業、あて名書き等の作業を行ったことによるものです。

現状では、役員のみで事務局業務を行うことは難しく、コンビニでの会費納入の利便性や過去の納入状況の連絡、名簿・総会出欠管理等の事務処理を考えると、今後も業者へ委託していくことが、同窓会活動の継続の上でも必要と考えています。

また、遠久発の発送を年会費納入者のみにするなどのご意見もありますが、そうすることにより、ますます支部と同窓生の接点が希薄になり、支部そのものの存在意義が小さくなるとともに、

同窓会組織自体も縮小していくものと思われることから、今後も遠久朶の送付は全会員を対象として継続したいと考えています。

3. 年会費値上げについて

現在の赤字状態のまま支部の運営をこのまま継続していくと、あと7～8年で資産を使い果たしてしまうこととなります（現時点での繰越金は約300万円）。現執行部として10年間、過去の資金が潤沢だった時代と比べると節約して運営してまいりましたが、執行部の若返りを契機として、この資金問題について解決とまではいきませんが、減少速度を遅らせるという手立てを講じて、次執行部へ引き継ぎたいと思っています。既に2012年より、特に首都圏支部総会の受付時には、2,000円以上の年会費を納入いただいている有志の方も多くいらっしゃり、ご協力に感謝申し上げます。

また、(株)同窓会事務局から他の同窓会の現状を聞いても、やはり2,000円を徴収しているところが多いとのアドバイスも受けました。これらのことより、年会費を来年度（2021年度）から2,000円へ増額することを提案したいと思います。

増額後については、大雑把に以下のように試算しています。

現在の納入者数300名－増額による減少を10%と予測：270名×2,000円＝540,000円

これにより、年間約20万円程度の増収、赤字額は15万円程度へ減少することとなります。

しかしながら、2,000円へ増額したとしても、根本的な解決にはなっておらず、さらに年会費増額以外の方策をとる必要があり、今後の検討課題として、遠久朶pdfのメール配信、年会費納入の利便性向上（スマホ決済等）等に取り組むとともに会員登録の住所からメールアドレスへの移行など、これからの情報社会に合わせた対応を検討して、経費削減に取り組んでいく予定です。

表1. 会員数の分布（全会員数：902名）

卒業回	27-40回	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-106	旧職員
人数	35名	142	192	163	142	115	83	30
累計	35	177	369	532	674	789	872	902

表2. 収入の推移 (円)

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
年会費	¥327,000	353,000	372,970	362,540	358,170	348,290	325,570	331,378
納入者数	278名	237	282	292	300	287	284	286
総会参加費	¥508,000	489,000	411,000	450,000	359,000	435,000	440,000	459,000
預金利息	¥914	862	811	792	69	35	32	28
合計	¥835,914	842,862	784,781	813,332	793,205	783,325	765,602	790,406

表3. 支出の推移 (円)

総会費	¥500,981	478,940	416,864	419,500	398,628	429,948	447,296	436,848
遠久朶発行	¥509,545	198,285	388,715	417,310	397,564	451,388	471,645	451,772
その他	¥396,142	310,539	346,463	349,332	318,708	286,741	279,590	200,539
合計	¥1,406,668	987,764	1,152,042	1,186,142	1,114,900	1,168,077	1,198,531	1,089,159
差額	▲¥570,754	▲144,902	▲367,261	▲372,810	▲321,695	▲384,752	▲432,929	▲298,753
繰越金	¥5,655,295	5,510,393	5,143,132	4,770,322	4,372,661	3,987,909	3,554,980	3,256,227

支出のその他には、出張費6～9万円（本部・近畿支部総会）、ゴルフ同好会支援費4万、支部総会案内状発送費約9万円の他、幹事会費等が含まれます。

2012年までは事務局をアサヒ興業（株）に委託、2013年は事務局の委託をせず、2014年からは（株）同窓会事務局へ委託。

－首都圏支部年会費振込みのお願い－

支部の資産減少対策として、年会費1,000円以上への変更、利便性を上げるためのコンビニ振込の採用などの策を採ってきておりますが、赤字状態の解消には程遠い状況です。そのため、来年度からは年会費を2,000円とする提案を考えております。なお、コンビニ用の振込用紙には振込手数料を含めた金額が印刷してあり、首都圏支部には丁度1,000円が入金されることとなります。また、このコンビニでこの用紙を使用する場合、振込金額の変更はできないため、別途支部活動への寄付金用の振込用紙を同封してあります。

当会は他に収入がなく、皆様一人一人の会費により会を運営しなければならないことを是非ご理解賜りたく、首都圏支部年会費の振込みをお願いいたします。

会費を振り込んでいただいた方は、会報「首都圏遠久朶」にお名前を掲載いたします。よろしくお願い申し上げます。

－編集後記－

昨年末から始まった新型コロナウイルス肺炎の蔓延は、中国から全世界に広がり、終息の目途は全くついていない状況です。この先どうなるか予測がつかないという状態は、とても不安というか、皮膚感覚として寒々とした感じがしています。

東京オリンピックの延期も決定しましたが、それ用に昨年から推進してきたテレワークや時差通勤が、思わぬかたちで半年早く開始されています。2018年度での導入率は20%程度だそうですが、このことにより、一気に浸透していくことでしょう。私のような古い人間にとっては、何かまとまり感、一体感が乏しくなるような気がしてくるのですが、これも時代の流れであって、これからはテレワークを導入していない企業は、就職先としても選ばれないようになりそうです。

ここ数年、富山での本部総会後の卒業謝恩会に支部長他が出席して、首都圏に就職する新卒生に首都圏支部を紹介し、就職後の連絡先を聞き出して連絡しています。今年は、これも中止となったため、本部の遠久朶の就職先をみて、就職先の先輩方に新卒者とのコンタクトをお願いしようと思っています。今年も支部総会に新卒者が出席されることを期待しています。

今年の支部総会自体、開催できるかどうか未だはっきりしない状態ですが、皆様の定期総会へのご出席をよろしくお願い致します。

(幹事長 66、S54年卒 道見 茂樹)

事務局等連絡先

富山薬窓会首都圏支部事務局

(株)同窓会事務局：info@egaomax.com

電話：0120-10-9870

富山薬窓会首都圏支部幹事長

道見：toyamayakugakubu@yahoo.co.jp

令和2年度「薬窓会首都圏支部総会」のご案内

日 時：令和2年6月27日（土） 14時00分（開場13時30分）～

場 所：総 会「AP東京八重洲通」11階 L室（14時00分～16時30分）

懇親会「AP東京八重洲通」11階 K室（16時30分～18時30分）

住 所：東京都中央区京橋 1-10-7（東京駅八重洲口地下街24番出口）

<https://www.tc-forum.co.jp/kanto-area/ap-yaesu/>

電 話：03-6228-8109

会 費：男性：8,000円、女性：6,000円（ご夫妻で出席の場合 13,000円）

平成18年3月～平成27年3月の卒業生：5,000円（男女とも）

卒業後5年まで（平成28年3月～令和2年3月）：無料

話題提供 ① 渡辺 知恵氏（第83回：城西大学）

「核酸製剤の開発に携わって

～経口製剤化を目指した経腸全身デリバリー～」

② 新井 一郎氏（第66回：日本薬科大学）

「2つの漢方ー現代医学としての漢方と伝統医学としての漢方ー」

* 同期の方々をお誘いいただき、多くの方のご参加お待ちしております。





令和元年度薬窓会首都圏支部総会（令和元年6月22日、於 AP東京八重洲通）